

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和5年12月22日(金)
第27号

◆実践報告会◆

12月4日(月)に、1, 2年生の実習報告会を行いました。実習の様子をスライドに流しながら、生徒自身が成果と課題を中心に発表していきましました。1年生の生徒からは、「たくさんの重い荷物を運び、手首や腰などが痛くなりました。まだまだ体力が足りないと思いましたが、最後までやり遂げました。」と報告がありました。2年生からは、「品出しをしていくと、任された商品が店頭に出て、自分の任された仕事が減っていくのを見て、この仕事はわかりやすく、自分に合っていると思いました。」「お店の人に仕事ぶりを認められ、一度に2つの仕事を任せられるようになりました。」などが成果として報告できていました。また、生徒の実習ノートを見させていただくと、実習先の方から、「仕事は丁寧にできたと思います。そして、自分の仕事を理解して、指示を待つことなく次の仕事ができている、感心しました。」「仕事を覚えて、素早く正確に仕事ができて、忙しい時期でしたが、職場が助かりました。」というコメントをいただきました。しかし、「集中力が足りません。」「仕事をする上で、挨拶や報告の声が小さいです。」という課題をいただいています。課題となったところは、家庭生活や学校生活の中で改善していき、素敵な社会人を目指し、頑張ってください。



家庭からの連絡で

「実習で教えていただいた洗い物をする仕事をいかし、最近では夜のご飯の後の洗い物を選んでしてくれるようになりました。野菜の皮むきも手伝ってくれます。」と実習で学んだことを家庭でいかしている生徒もいました。

保護者の方へ

企業就労は、任された仕事を一人でこなすことが前提です。実習も同様です。まず家の仕事が一人でできるように、自分の身の回りのことは一人でできるようにすることが大切です。

今後に向けて進路から

全員が良かったこと

- ・職場の方への挨拶
- ・実習を途中で投げ出さず最後までやり遂げた

実習で大事なこと その1

- ・どんな仕事かを知る
- ・その仕事が自分に合っていることや苦手なことを知る

実習で大事なこと その2

- ・長く考え込まず 職場の方に報告や相談ができること

実習で大事なこと その3

- ・職場の方の指示を待つだけでなく仕事を覚えて一人で次の行動ができる

家で手伝いをしている人は「仕事ができている」

家庭で自主的に家事をしている生徒は、「①仕事の順番が分かる ②物の置き場所がわかり使った物をもとの場所に戻す ③仕事のスピードが速い」など就労に結びつくことへの力がついています。普段から家で洗濯物をたたむことをしている生徒は、食料品の品出しだけでなく、衣料品の仕事もさせていただき、実習先からも仕事ができるということで感謝されていました。